

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年 6 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

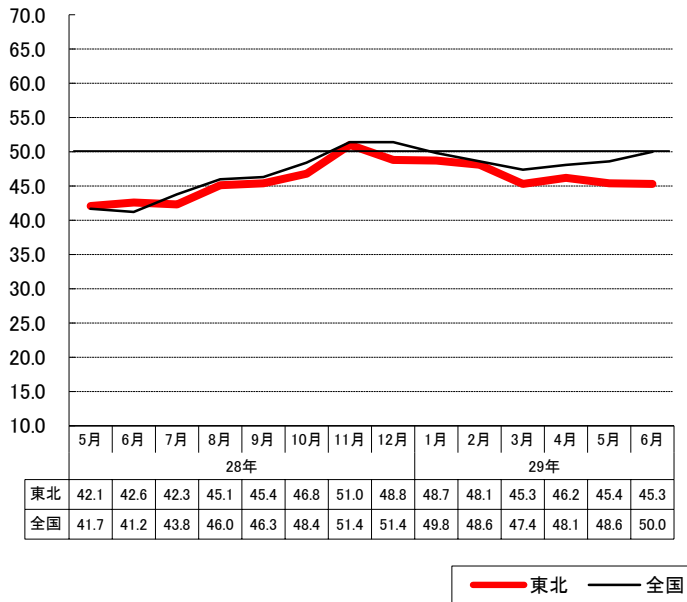
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年 6 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断 DI は「45.3」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.1 ポイントとわずかに下回った。

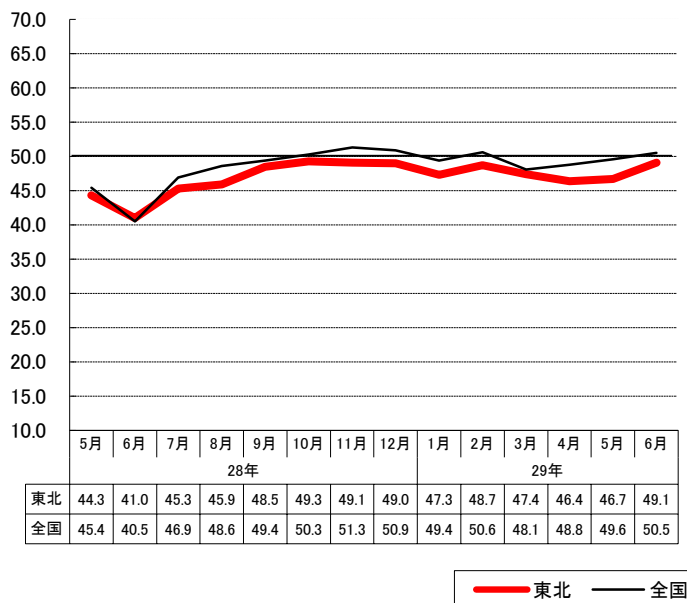
現状判断DIの推移



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断 DI は「49.1」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+2.4 ポイントとやや上回った。

先行き判断DIの推移

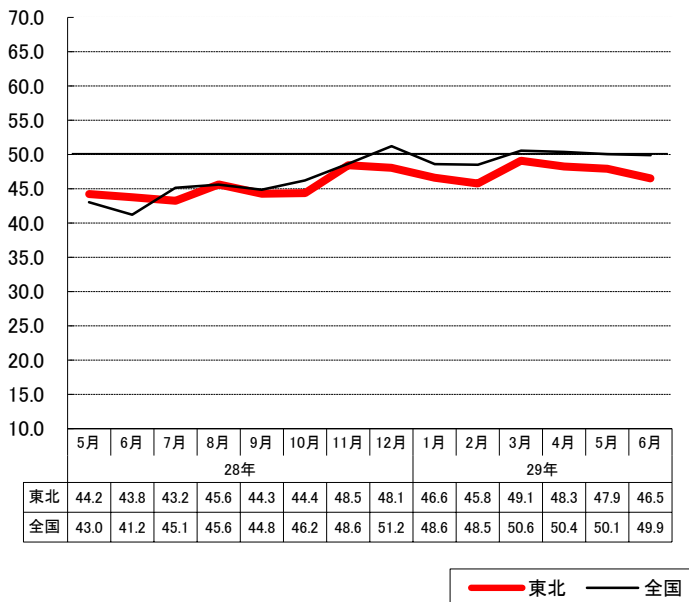


2. 原数値

(1) 現状判断(3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「46.5」と3か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.4ポイントとやや下回り、23か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。

現状判断DIの推移



・家計動向…住関連専門店、商店街代表者、旅行代理店等でDIが前月を上回ったが、衣料品専門店、都市型ホテル、住宅販売会社等の業種でDIが前月を下回った。DIは「44.9」(▲2.1)と3か月連続で前月を下回り、基準値50を25か月連続で下回った。

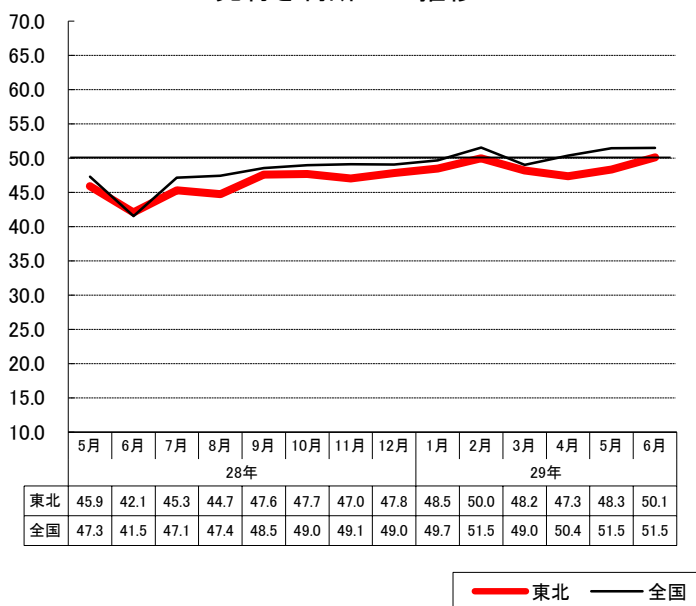
・企業動向…窯業・土石製品製造業、輸送業等でDIが前月を上回ったが、農林水産業従事者、食料品製造業、司法書士・経営コンサルタント等の業種でDIが前月を下回った。DIは「46.3」(▲5.0)と3ヶ月ぶりに前月を下回り、基準値50を2か月ぶりに下回った。

・雇用動向…DIは「56.8」(+9.1)と2か月ぶりに前月を上回り、基準値50を2か月ぶりに上回った。

(2) 先行き判断(2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「50.1」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.8ポイントとやや上回り、4か月ぶりに景気判断の基準となる50を上回った。

先行き判断DIの推移



・家計動向…住関連専門店、高級レストラン、住宅販売会社等の業種でDIが前月を下回ったが、一般レストラン、百貨店、コンビニ等の業種でDIが前月を上回った。DIは「50.2」(+1.1)と2か月連続で前月を上回り、基準値50を23か月ぶりに上回った。

・企業動向…建設業、食料品製造業、金融業等の業種でDIが前月を下回ったが、それ以外の業種では前月からDIが横ばいもしくは上回った。DIは「48.1」(+1.2)と2か月連続で前月を上回ったが、基準値50を4か月連続で下回った。

・雇用動向…DIは「53.4」(+6.8)と、2か月ぶりに前月を上回り、2か月ぶりに基準値50を上回った。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	28年								29年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北現状	44.2	43.8	43.2	45.6	44.3	44.4	48.5	48.1	46.6	45.8	49.1	48.3	47.9	46.5
家計動向関連	42.4	43.2	42.2	44.4	43.3	43.7	47.4	46.6	46.0	44.4	49.6	47.7	47.0	44.9
企業動向関連	46.7	42.5	43.6	48.0	47.5	42.5	48.7	49.4	46.3	46.2	45.4	45.4	51.3	46.3
雇用関連(参考)	51.3	50.0	48.9	48.9	44.3	52.3	54.5	54.8	51.1	53.4	52.3	57.1	47.7	56.8

（2）先行き判断D I

	28年								29年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北先行き	45.9	42.1	45.3	44.7	47.6	47.7	47.0	47.8	48.5	50.0	48.2	47.3	48.3	50.1
家計動向関連	44.7	43.6	45.0	42.6	47.4	47.0	46.1	47.0	47.4	49.2	48.0	47.3	49.1	50.2
企業動向関連	48.0	36.3	44.2	48.7	47.5	48.8	46.7	47.5	50.6	50.0	48.0	44.7	46.9	48.1
雇用関連(参考)	50.0	43.8	48.9	51.1	48.9	50.0	53.4	53.6	51.1	54.5	50.0	52.4	46.6	53.4

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 29 年 6 月 25 日～30 日

回答者数 194/210 名、回答率 92.4%(全国 1,866/2,050 名、91.0%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：萱場 喜樹）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（建設業）…地方公共団体の各種補助金が始まり、天候も良いため、受注量は順調に推移している。

○「やや良くなっている」

（商店街）…天候にも恵まれ、来街者は引き続き増加傾向にある。一部の物販店舗では、ボーナス効果の声も聞こえており、サービス関係、飲食店においても明るさがみられている。

（コンビニ）…競合店の影響はあるものの、売上はそれほど悪くない。天候も比較的良好であり、土日の行楽客を獲得することができている。

（住関連専門店）…小物商品の販売量が比較的堅調に推移しており、単価も若干の上昇傾向にあるため、売上が増加している。

（旅行代理店）…団体旅行は順調に推移しており、個人旅行も直販に関しては伸びてきている。ただし、提携販売については、格安旅行代理店の破産問題もあり、客は小さな店舗に来店しなくなっている。

（金融業）…住宅新築ニーズは依然として堅調であるものの、顧客が検討する価格帯が低下している。結果的に、中央資本の大手住宅メーカーよりも、地元資本の中規模業者がニーズを拾いやすい状況となっている。

（人材派遣会社）…東北エリアにおける求職者の登録数は過去最高を記録しているが、要因の一つに法人顧客の求人数の増加がある。個人でも応募できる案件が増加しており、転職に関する相談、情報収集に動く個人の動きが活発になっている。

（新聞社〔求人広告〕）…求人数は前年並みで推移している。ただし、実際にはもっと求人の需要はあるものの、深刻な人手不足であり、地方ではあきらめムードが強くなっている。

（職業安定所）…求人数はあまり変わらないが、新しい店舗がどんどん進出している。それに伴い雇用の確保も進んでいる。

○「変わらない」

（百貨店）…全体的に景気回復の動きがないなかでは、来客数が大きく増えることはない。また、例年6月はオケージョン需要のない月であるため売上が厳しい月となるが、今回顧客への動員イベントを行ったことで、売上に大きな変動はない。しかし、顧客への動員イベントがなければ前年比90%を下回った可能性がある。

（家電量販店）…涼しい時期があったため、6月前半はエアコンなどの季節商材が伸び悩んでいた。ただし、後半からは梅雨の湿気のためにエアコンの売上が伸びている。冷蔵庫、洗濯機などは買上単価が上昇しており前年を上回っているが、期待していた4Kテレビがそれほどでもなく、テレビ関係は前年並みで推移している。また、来客数が前年比2%ほど減少しているものの、単価のおかげで売上は前年をクリアしている。

（乗用車販売店）…例年であれば、ボーナス時期には個人客の販売量が増えるが、今年はあまりその傾向はみられていない。

（酒類専門店）…6月から、酒類の販売に厳しい基準が設けられている。主に安い商品が対象となるが、売場も客も今月は様子見で商品は動いていない。純米吟醸酒、純米酒といった従来から堅調な商品はまずまずであるものの、伸びが鈍化しているように見受けられる。

（高級レストラン）…6店舗あるレストランのうち、5店舗が例年に比べて苦戦を強いられている。好調な店舗は節目会食などの影響によりプラスで推移しているものの、時期的な要因でもあるため楽観視はできない。

（通信会社）…新サービスがなかなか売れない。また、商談ではコスト削減の要求が中心である。

- (美容室) …新規客の再来店率の低下と、顧客の再来店率が 90%台という状況が、ここ数か月続いている。
- (自動車整備業) …全体的な景気の印象は中の上くらいであるが、良くなっている様子はない。ただし、来客数は微減しているものの、成約率は微増している。
- (住宅販売会社) …民間工事の受注量は計画どおりであるものの、公共事業の発注数が少なく、良い状態とはいえない。
- (リフォーム業) …増改築工事などのリフォームの問い合わせが前年より減っている。
- (食料品製造業) …他県からの旅行者や出張者などによる売上の増加はあるものの、それはイベントによるものであり、本質的な景気向上によるものではない。
- (電気機械器具製造業) …半導体製品の大口顧客価格が落ち着いてきている。そのため、業績計画に対して大きなギャップもなく推移している。
- (経営コンサルタント) …ショッピングセンターなどの大型商業施設では早めのバーゲンが始まっているが、消費意欲を刺激するまでには至っていない。

○「やや悪くなっている」

- (スーパー) …競合店の出店により、エリア内での価格競争が激化している。客の取り合いになっており、店舗の活性化や価格対応で対策をしているものの、来客数の減少が売上の減少に直結している。また、6月後半になっても気温が上がらず、涼味商材の売行きが落ち込んでいる。さくらんぼの収穫も前年に比べて一週間以上遅れており、売上が低迷している。
- (一般レストラン) …5月に戻りつつあった来客数であるが、6月は客足が鈍く、特にディナータイムは全く客がこない。
- (観光型旅館) …特別な要因は見当たらないが、消費に手控え感や目的買いの様子がみられている。そのため、例年と比較して、売上などはやや下回る傾向が続いている。
- (都市型ホテル) …新たなホテルの進出もあり、宿泊は前年を下回っている。さらに、宴会、レストランの前年比も落ち込んでおり、婚礼に関しては他社も同様に落ち込んでいる。
- (出版・印刷・同関連産業) …3か月前と比較して、売上、受注残共に 10%ほど落ち込んでいる。前年同月比においても同じく 10%の減少である。
- (広告業協会) …バーゲンのシーズンであり、例年であれば、小売業からのテレビスポットやチラシの制作などで多忙なのだが、今年は小売業や流通業からの引き合いが非常に少ない。
- (飲食料品卸売業) …景気が良いとの報道があるが、首都圏と地方では状況が異なる。水産加工を基幹産業としている地元では、景気の良い話は全く聞こえてこない。前年割れ、所得の減少という話が一般的である。

○「悪くなっている」

- (医薬品販売店) …震災以降、今月は来客数が最も少ない月となっており、平年の6月より 16%も減少している。ただし、客単価が高く月間売上は平年をやや下回る程度となっている。客単価に救われたが、この地すべりの来客数の減少は今後に大きな不安を残している。この来客数の減少は、主に低単価層の来店頻度の減少からきているが、これが景気悪化を意味しているのか、ネット通販などに需要を取られたのか判断しかねている。
- (衣料品専門店) …天候不順もあり、全体的に夏物衣料の動きが悪く苦戦している。気温が上がらないため、客は今あるものでなんとかしようとしている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

- (コンビニ) …長期天気予報では、例年より高い気温を示しており、値入率の高いソフトドリンクやアイスコーヒー、アイスクリームの販売量増加が期待できる。

- (乗用車販売店) … 今後は、新型車効果もあり、9月半期決算に向かって販売量が上向くと見込んでいる。
- (一般レストラン) … 例年、暖かくなると人の動きが良くなる。夏祭りなど外に出る機会も増えるため、景気はやや上向きになるとみている。
- (観光型旅館) … 夏休みの家族旅行、海水浴、帰省、夏祭りイベント、花火大会などの客の取り込みが、例年よりも早めにできている。
- (テーマパーク) … 夏休み時期のため、来客数増加に伴う売上の増加を見込んでいる。
- (輸送業) … 主要荷主の生産が順調に進んでおり、今後物流の増加が期待できる。
- (広告代理店) … インバウンド系の案件が増えており、多少先までの売上が見込めている。
- (公認会計士) … クライアントの話では、夏から秋にかけて建設業の受注状況は良好と聞いている。そのため、小売業は現状維持としても建設業が上向きになるとみている。
- (人材派遣会社) … 受注済みの7月案件のほか、現在見積中の案件が成約すれば、2～3か月先の景気もやや良くなる見込みとなる。

○「変わらない」

- (百貨店) … 客との会話から、思ったほどボーナスが上昇していない様子であり、この先1～2か月は現状維持の状態が続くとみている。
- (スーパー) … 来客数はやや改善しているものの、1品単価、販売量は依然として落ち込みが続いている。この状況は今後も続くとみている。
- (衣料品専門店) … 猛暑が予想されており、夏物商材の動きは期待できる。ただし、単価が稼げるビジネス衣料については、動きが停滞することが見込まれる。
- (家電量販店) … 売上があまり伸びていないなか、エアコン、扇風機などの季節商材の売行きが今後を左右する。猛暑が続けば期待できるが、そうでなければ少し厳しい。
- (旅行代理店) … 格安旅行代理店の破産問題が影響しているのか、客は地元の会社を敬遠して、認知度の高い会社で旅行の申込をしている。ただし、全体的なパイが変わらず、販売量も変わらないため、このまま現状維持が続くとみている。
- (食料品製造業) … 大きなイベントがあるため売上は良いが、逆に大きなイベントがなければ売上は良くないことから、個人消費の基調は決して良くない。
- (電気機械器具製造業) … 販売価格及び顧客の動きは、当初の見込みどおりに推移するとみている。
- (建設業) … 中央官庁を中心に発注の平準化が図られているため、発注状況は同程度のまま推移するとみている。
- (新聞社[求人広告]) … 求人広告を掲載しても反応が鈍く、人手不足が定着している。
- (職業安定所) … 企業の採用意欲は引き続き旺盛である。ただし、これは景気が良いからではなく、人手不足に起因するものである。

○「やや悪くなる」

- (農林水産業) … 長期予報で猛暑となっており、作物の収量減につながることを懸念している。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上